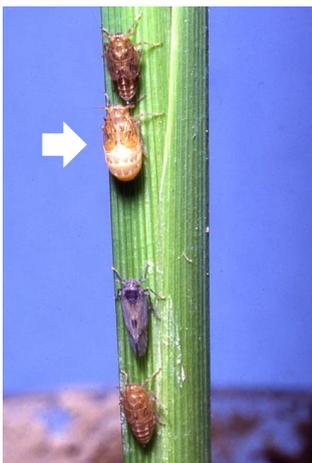


## 県内でトビロウンカの発生を確認しました！

岡山県病害虫防除所の調査によると、7月4～5日の巡回調査（本田すくい取り）において、県南部の水田でトビロウンカが確認されました。**この時期に発生が確認されたのは、過去10年のうち3回（平成25年、令和元年、令和2年）で、その後広範囲に坪枯れが発生しました。**今回も県下広範囲に飛来している可能性がありますので、箱剤を施用していない圃場は特に今後の発生に注意し、防除を徹底しましょう。

### <防除上の参考事項>

- (1) トビロウンカは日本で越冬できず、梅雨期にジェット気流に乗って中国大陸から飛来してきます。そのため、日本での発生量は年次変動が大きいです。
- (2) 要防除水準（成幼虫合計で株当たり10頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり0.2頭以上）を超える圃場では、直ちに防除を実施しましょう。なお、本虫は、圃場内で局所的に発生し、かつ株元に集中して生息する特性があるため、株元をよく観察し、発生状況を十分把握しましょう。調査に当たっては圃場の中央部まで入って株元をよく観察しましょう。
- (3) 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、安全・適正に使用しましょう。また、散布に当たっては薬剤が株元まで十分到達するよう留意しましょう。



成虫（体長約5mm）  
（矢印は短翅型雌成虫）



株元に集中して生息



圃場の被害（坪枯れ）

表 水稻におけるトビイロウンカの主な防除薬剤

(令和5年7月10日現在)

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準			IRAC コード 注2)
	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	希釈倍数・使用量	
キラップフロアブル キラップ粉剤DL	収穫14日前まで 収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍 3～4kg/10a	2B
トレボンEW <sup>1)</sup> トレボン乳剤 <sup>1)</sup> なげこみトレボン <sup>1)</sup>  トレボン粉剤DL <sup>1)</sup> トレボン粒剤 <sup>1)</sup>	収穫14日前まで 収穫14日前まで 5葉期以降収穫21 日前まで 収穫7日前まで 収穫21日前まで	3回以内	1,000倍 1,000～2,000倍 水溶性容器10個 (500ml) / 10a  3～4kg / 10a 2～3kg / 10a	3A
スタークル・アルバリン粉剤DL スタークル・アルバリン顆粒水溶剤 スタークル豆つぶ スタークル・アルバリン粒剤	収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	3kg / 10a 3,000倍 250～500g / 10a 3kg / 10a	4A
エクシードフロアブル エクシード粉剤DL	収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 3kg / 10a	4C
エミリアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍	4F
オーケストラフロアブル <sup>1)</sup>	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍	UN

<sup>1)</sup> の薬剤は水産動植物に対する危害が発生しやすい地域及び発生するおそれのある地域では使用しない。

<sup>2)</sup> IRAC コードによる農薬有効成分の作用機構の分類

- ・ 農薬容器のラベルをよく読み、各単剤の有効成分を含む農薬の総使用回数を守りましょう。

**農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。**

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

